

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモイが最高で2,275cells/ml、シャットネラ属が最高で11cells/ml、シールドシャットネラ・ベルクローサが最高で10cells/ml、ケラチウム属(C.フルカ+C.フスス)が最高で18cells/ml確認されました。

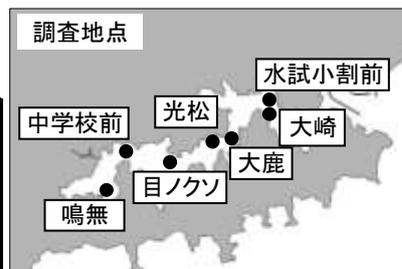
カレニア・ミキモイは、鳴無、中学校前、目ノクソの各5m層、大鹿の2m層で被害が想定される細胞密度になっています。また、シャットネラ属は鳴無(5m層)で被害が想定される細胞密度になっています。

今後、これらの有害プランクトンが増殖し、0m層まで被害が想定される細胞密度になる可能性があります。十分に注意してください。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン(cells/ml)

		カレニア・ミキモイ	シャットネラ属	シールドシャットネラ・ベルクローサ	ケラチウム属(C.フルカ、C.フスス)	珪藻類
中学校前	0m	16	0	5	10	9,400
	2m	70	1	1	5	7,300
	5m	2,275	8	5	5	1,000
目ノクソ	0m	9	0	1	1	6,800
	2m	13	0	2	9	610
	5m	316	0	1	18	1,000
光松	0m	17	0	7	6	520
	2m	44	1	1	0	5,400
	5m	130	0	1	13	900
大鹿	0m	6	0	6	0	7,400
	2m	300	0	0	2	1,900
	5m	13	0	3	2	550
水試小割前	0m	0	0	10	0	4,400
	2m	3	0	4	2	1,900
	5m	12	0	1	2	1,400
鳴無	0m	22	0	5	0	
	2m	220	4	1	2	
	5m	1,225	11	3	2	
大崎	0m	62	0	5	0	
	2m	12	0	3	0	
	5m	3	0	0	4	



漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモイ:
数百～数千cells/ml(魚類等のへい死)
- ・シャットネラ属:
10～100cells/ml(魚類のへい死)
- ・シールドシャットネラ・ベルクローサ:
500～1,000cells/ml(魚類等のへい死)
- ・ケラチウム属:100cells/ml(餌食いの悪化)